

楽しかった1学期があっという間に終わり、22日からいよいよ夏休みが始まります。今回の回覧板では、にじ組のお化け屋敷のその後と第一幼稚園の恒例行事となった「鮎のつかみ取り」についてご紹介します。



お化け屋敷、楽しかったね！

前回紹介した、年長にじ組のお化け屋敷は、保育室全体を使った大掛かりなものになりました。所々に仕掛けを作る子もいれば、衣装を作ってお化けになりきる子もいました。プール遊びが本格的になると、室内で遊ぶ時間がなかなか確保できず、午後になって他クラスを招待しに行っても、「もう片付けの時間だからごめんね。」と断られることが多く、肩を落として戻ってくる日が続いていました。そんな時にKちゃんが「時間を決めて約束しておけばいいんじゃない！」と提案し、有志が集まり、招待状を作ることになりました。

すると、いつもしっかり者で意欲的なRちゃんは、実は文字が書けません。こっそりと担任に「私、実は字が書けない。苦手なんだ。」と打ち明けます。担任が手本を書き、それを書き写すRちゃん。必要感から、途中で投げ出すことなく、招待状を完成させました。

次の日、年中、年少組に招待状を渡しに行くと、「明日必ず行くね。」と返事をもらいとても満足そうな笑みを見せたRちゃんでした。



お化けを毛糸で釣って動かす仕組み



白い幽霊と浴衣を着たお化け



お化けになりきり脅かす女児たち

お化け屋敷で十分遊び、満足した子どもたちは、夏休みの話題を取り上げると「たくさん遊んだから。」と屋敷のパーツを分解して持ち帰るのを条件に、お化け屋敷の解体の日を決めました。幾度となく壁にぶつかり、みんなで力を合わせて作り上げたお化け屋敷の思い出は、にじ組一人一人の心にずっと残るでしょう！



大きなガイコツがこっちを見てる！これでいいぞ。

わたしはここを持って帰りたい！



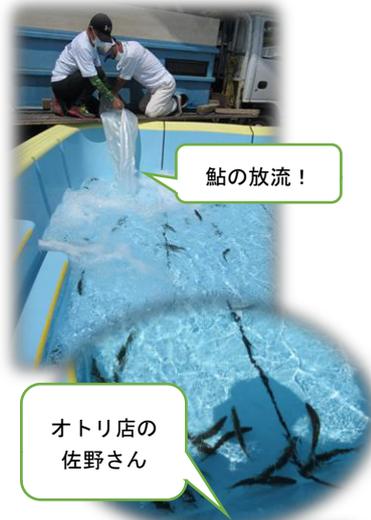
自分の作った部分やお気に入りを持ち帰ります



『鮎のつかみ取り』体験

今年も佐野オトリ店さんのご好意で「鮎のつかみ取り」体験をすることができました。幼稚園のプールに 150 匹の鮎を放流し、園児が自分の手でつかみ取り体験をしました。

会のはじめに、佐野オトリ店の佐野保さんから、富士川の鮎についての生態や骨も皮も全てが食べられる魚、などのお話をいただきました。鮎の一生は一年と短く、きれいな水がないと生きられないことや、富士川で生まれた鮎は海に出て、また故郷の富士川に戻ってくる、というお話を聞き、富士川に鮎が住み続けられるよう、きれいにしよう、という気持ちが芽生えました。これは、SDGs の精神にも則っっていますね。かけがえのない故郷が、未来も住み続けられる町であるように、今私たち大人にできることを考えさせられた会でもありました。



「水が冷たい」「ぬるっとした感触」「焼くといいい匂い」「骨と皮までおいしい」など、五感を使って感じ取っていました。

うらやまからのつづやき (園長のつれづれなるままに No.3)

鮎のつかみ取り と SDGs (Sustainable Development Goals) と “うらやま縁”

7月13日(火)には、本園の園行事の特徴となりつつある「鮎のつかみ取り」が行われました。平成26年度の旧園舎の時から始まったそうです。今から7年前になります。

富士市保健医療課食育推進室の「食育推進事業」指定園の取組で始まったようです。当時の保護者で、今もお世話になっている山梨県南巨摩郡南部町で鮎の養殖を営んでいる佐野オトリ店さんは、“うらやま縁”のご縁そのものです。

さて、本市は、令和2年7月17日、SDGs未来都市に選定されました。SDGsに関しては、5月の回覧板に「SDGs第1号」を発行したところです。本園ホームページに掲載しているのでご覧いただければ幸いです。

鮎のつかみ取りの始めに当たり、佐野オトリ店のご主人から、富士川が清流であるからこそ若鮎が川を上ってくるお話をしてくださいました。

お話を聞いた後、園庭の組み立てプールに鮎が放流されました。年長と年中は、素早い鮎と格闘しました。年少とみみちゃん(未就園児)の子どもたちは、アクアプールやタライに放流された鮎をつかむことに挑戦しました。苦手な子も居ましたが、子どもたちの屈託ない笑顔と歓声を直接見ることができました。私たちの活動に込めた願いが急には表に出ません。表に出なくてもいいのです。その子なりの原体験の一つになればいいと願っております。

この日、もう一つの“うらやま縁”のお披露目ことができました。それは、園庭に日陰をつくってくれる日除けシートです。北側、登り棒(幅約2m)から南側ブランコ屋根(幅約4m)登り棒からブランコまで約15m。富士山のような細長い台形の形に遮光シートを張ってくださいました。この「鮎のつかみどり」に間に合うように、PTA会長中山様が、前々週と前週の2日間を使って、取り付けてくださったのです。

お子様のつかみ取りを参観されていた保護者の皆様は、張られている日除けシートの下に入り、熱い太陽光から逃れることができました。有難うございました。

「三方よし」という近江商人の言葉がありますが、「四方(子ども、保護者、園、佐野オトリ店)よし」というお互いがそれぞれに良い思いを持てる行事であると思います。

また一つ、“うらやま縁”の絆が太く紡がれました。本当に有難うございました。